学校番号	1302

令和８年度　（学）マリンライフ科

教科	(学)ﾏﾘﾝﾗｲﾌ	科目	(学)海洋ｽﾎﾟｰﾂｲﾝﾄﾗ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

豊かな自然環境に恵まれた本校の立地条件を活かし、専門教科「水産」の枠にとらわれずに、冒険的な要素を加えた実習や、地元の海洋資源を活用した商品開発など多様な学びを行います。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
マリンスポーツ、水産資源、自然環境に関する知識と技能を習得できるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
安全に関する判断力、問題解決のために工夫する力、生物や自然を観察する力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
地元の人々や資源に触れることによるコミュニケーション能力や探究心を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・マリンアクティビティに関する技術や知識、安全や法規に関する知識を習得する。 ・養殖や漁業体験等の実習を通して水産資源に関する技術や知識を習得する。 ・海以外にも山や川などの自然環境に関する知識を習得している。	・マリンアクティビティの楽しみ方や安全性について考える力、判断力を養う。 ・海洋生物調査や自然観察において、情報機器やウェアラブル端末を活用し、調べる力や表現力を養う。 ・海洋生物の捕獲や養殖を通して、観察力や計画力を養う。 ・共同作業により、コミュニケーション能力を高める。	・地元の漁業組合や観光協会等と協働し、地域の資源に新たな付加価値を生み出す（６次産業化）面白さを実感するとともに、地域産業の活性化について考える。 ・自然海岸や里山が近隣にある環境を活用し、自然環境の中での人間の在り方を考える。 ・生涯の豊かな生活を送るための趣味を見つけて高める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名 学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	ビーチスポーツ、マリンスポーツ 砂浜でのスポーツやゲームの特色を理解、体験をする。カッターやカヌーの特性を理解して、海上の移動手段を体験する。海洋環境保全の知識を行動化し、保全について考えるために、ビーチクリーニングもおこなう。	a: マリンアクティビティに関する技術や知識、安全や法規に関する知識を習得する。 b: マリンアクティビティの楽しみ方や安全性について考える力、判断する力を養う。 c: 生涯の豊かな生活を送るための趣味を見つけて高める。	ワークシート 取り組む態度	取り組む態度	取り組む態度 レポート
	魚釣り実習 仕掛けの組み方(ラインワーク)や釣り餌の知識、釣り場の知識を習得し、季節・天候・場所による魚の生態を知る。	a: 魚釣りに関する技術や知識、安全に関する知識を習得させルールを身につける。 b: 海洋生物の捕獲を通して、観察力や計画力を養う。 c: 生涯の豊かな生活を送るための趣味を見つけて高める。	ワークシート 取り組む態度	取り組む態度 実技テスト	取り組む態度 レポート
二学期	タコツボ漁実習、ワカメの養殖 タコツボを作り、漁業組合の協力で、タコツボ漁を体験する、また、漁業組合と海洋センターの協力により、海藻類の養殖を体験し、栽培漁業の基礎を知る。	a: 養殖や漁業体験等の実習を通して水産資源に関する技術や知識を習得する。 b: 地域の人々との共同作業により、コミュニケーション能力を高める。 c: 地元の漁業組合や観光協会等と協働し、地域の資源に新たな付加価値を生み出す面白さを実感するとともに、地域産業の活性化について考える。	ワークシート 取り組む態度	取り組む態度 作品の出来映え	取り組む態度 レポート
	調理実習 地域の産物(特に魚類)を利用して調理が出来るように、調理の基礎を学ぶ	a:魚類の体の構造を解剖を通して確認し、技術と知識を習得する b: 情報機器やウェアラブル端末を活用し、調べる力や表現力を養う。 c: 生涯の豊かな生活を送るための趣味を見つけて高める。	ワークシート 取り組む態度	取り組む態度 作品の出来映え	取り組む態度 レポート

三学期	干潟観察 生物の観察を通して、その生物の食性や特徴などを調べる手法を学ぶ	a: 水産資源に関する知識、自然環境に関する知識を習得する。調べ学習の手法を習得する。 b: 海洋生物の捕獲や養殖を通して、観察力や計画力を養う。 c: 自然海岸や里山が近隣にある環境を活用し、自然環境の中での人間の在り方を考える。	ワークシート 取り組む態度	取り組む態度	取り組む態度 レポート
	竹炭つくり 岬町の協力により、間伐竹を利用し、環境保全手法を体験するとともに、利用方法を模索する	a: 海以外にも山や川などの自然環境に関する知識を習得する。 b: 地域の人々との共同作業により、コミュニケーション能力を高める。 c: 地元の漁業組合や観光協会等と協働し、地域の資源に新たな付加価値を生み出す面白さを実感するとともに、地域産業の活性化について考える。	ワークシート 取り組む態度	取り組む態度	取り組む態度 レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度